

卒業論文体験談

○はじめに

卒業論文提出まであと一ヶ月となりました。皆様は、どの程度進んでいますでしょうか。私は昨年、「関東における親鸞の一考察」という題で卒論を書きました。今の時期は、1月の論文提出に向けてひたすら書き続けていました。論文を書いてゆく中で、いくつかアドバイスをしたいと思います。卒論は提出すれば合格するものではありません。そのことを頭に入れて聞いていただきたいと思います。

○論文を書くにあたって

今後論文を書き進めるために重要な点を4つ挙げておきます。

① 12月からは時間がないため、集めた資料を参考にひたすら書き進めること。年内には書き終えて、余裕をもって提出に臨みましょう。

② 仏教用語や真宗独特の意味や読みを理解すること。このような語句は必ず辞書で調べ、意味や読みを確認しましょう。

③ 論を進める上で、書いている箇所の問題点を把握し、論点がずれていないかを確認しながら書き進めましょう。

④ 一つの意見に偏らず、多くの資料を目にし広い視野を持って書きましょう。よりたくさんの方の意見を取り入れることによってより良い論文になります。

論文とは、問題提起をし、問題点を明確にして、経典や先行研究を挙げて考察し、自分の考えを論証していくものです。ここまで書いてきたものを何回も見直して最初の論点と齟齬はないか、文章がおかしくないかを確認しましょう。そして、指導教授の先生との相談は多いほど良い論文になります。提出前に最低 2,3 回は指導を仰ぎましょう。

○論文の体裁

論文提出には決まった体裁があります。その体裁が守られていない場合には論文を提出することができません。印刷前に、文字数・行数・註などをよく確認してから印刷しましょう。また、論文提出間近になると、大学のパソコンが連日満員になります。なるべく早めに印刷をしておき、余裕をもって論文提出に臨みましょう。

体裁に関してはよく『卒業論文作成マニュアル』を参照することをお勧めします。

○口述試問

口述試問は、論文を書いた皆さんがどの程度自分のテーマを理解をしているかを聞かれます。自分が設定した問題点と結論を明確に、簡潔に答えられるようにしておきましょう。

口述試問対策としては、以下のことを挙げておきます。

①論文提出後、自分の論文を何回も読み返す。

→誤字脱字や文章の相違はないか。

②誤字脱字などを発見したら、正誤表に明記しておく。

→正誤表を怠ると、試問の時に指摘されます。

③自分が設定した問題点と結論を明確に、簡潔に答えられるようにしておく。

→一番重要である、自分がこの論文で何が言いたいのかを明確に。

○最後に

ここまで、私の体験で考えたことを述べてきました。卒業論文提出まであと一ヶ月となりました。就職活動やサークル活動などで論文作成が手につかない方もいらっしゃると思います。しかし、論文は自分が書こうとしなければ進みません。資料を読まなければ進みません。今から、自分の出来ることを最大限に取り組み、来年1月の論文提出を目指しましょう。